令和７年度事業報告書

概要

令和７年度は開設して初めての新卒介護職員を迎えました。社会人としてのビジネスマナー、介護保険制度、介護技術等段階を追って研修を進めました。１年が過ぎ特別養護老人ホームの職員としてしっかり業務に取り組んでいます。２年目もさらにスキルアップできるよう支援を続けます。また、２名の介護職員が介護福祉士の資格を取得しました。

施設運営では、特別養護老人ホーム入所者の高齢化が進み平均年齢は 91 歳となっています。また平均在所日数は３年４ケ月です。体力の低下もみられるため感染症をはじめ健康管理には注意しました。ショートステイは引き続き新規利用者の確保を行いました。加えて特養入所待機者の受け皿として長期利用者の受入れにも対応しました。にじの郷の日常の姿を知ってもらう目的で始めたインスタグラムも浸透し、利用促進だけでなく求人活動でも求職者からインスタグラムを見て興味を持ちましたというお話をいただきました。特別養護老人ホームへの入所申し込みは定期的にあるものの、待機者数は開設間もないころと比較すると減少傾向にあります。在所日数が長期になっていることもあり入れ替わりは比較的ゆっくりです。ショートステイは週末の利用に集中することが多いこと、定期的に利用される方が増えていることで新規の予約が入りにくくなっていますが稼働率を安定させるよう部屋割りを工夫しました。

経営面では、特別養護老人ホームの入所者数は安定しています。しかし入所者の高齢化による体調不良で入院する機会が増えています。利用率は 93.4%、前年度の 94.9%から、若干低下しました。ショートステイは、継続利用と新規利用者が増えたことで利用率が 70.3%と前年度の 65.1%を大きく上回りました。特に第三四半期は好調で 75%から 78%の利用率でした。年間を通すと予算には未達ながらショートステイの利用率が向上したことで、入院による特別養護老人ホームの利用率低下を補い法人の収益安定につなげることができました。

求人活動は介護職員、看護職員ともに年間を通してハローワークへ求人票を掲載しているものの反応は薄く、紹介会社、派遣会社に頼らざるを得ない状況にありました。職員体制は充足しておらず厳しい状況です。

11 月から 12 月にかけてにじの郷を利用していただいているご本人、ご家族に利用に関するアンケートを実施しました。アンケートの結果、職員各人の日々の業務に対し高い評価をいただきました。

経営的には金融機関の御協力をいただく一方で、経費の節減や各種補助金の獲得等に努めましたが急激な物価高騰もあり、業績改善に至らない状況が続きました。

事業実績

１　評議員会、理事会及び運営推進委員会の開催状況

（１）評議員会

定時評議員会　令和７年６月２７日開催

第２回評議員会　令和８年３月２７日開催

（２）理事会

第１回理事会　令和７年５月２８日開催

第２回理事会　令和７年６月２７日開催

第３回理事会　令和７年９月２５日開催

第４回理事会　令和７年１１月２５日開催

第５回理事会　令和８年３月１３日開催

（３）運営推進会議

令和７年５月２０日開催、令和７年７月１５日開催、令和７年９月１６日開催

令和７年１１月１８日開催、令和８年１月２０日開催、令和８年３月１７日開催

2　地域密着型特別養護老人ホーム

（１）事業指定　平成２９年１２月２０日　３ユニット定員合計２９名

（２）入居開始日　平成２９年１２月２０日

（３）入所検討委員会

令和７年５月２３日開催、令和７年７月１４日開催、令和７年９月４日開催

令和７年１１月２８日開催、令和８年３月２７日開催

（４）利用者人数

実利用者数計　37 人（入所者数　９人、退所者数　８人）

延べ利用日数　9,892 日　利用率 93.4%

（５）要介護度及び年齢（令和８年３月３１日現在）

要介護４　12 人、要介護５　17 人

最年少　75 歳、最高齢　105 歳、平均　91.0 歳

（６）待機者数（令和８年３月３１日現在）

77 名

（７）平均在所日数３年４ケ月（最長８年３ケ月）

3　ショートステイ

（１）事業指定　平成３０年１月１日　１ユニット定員合計１０名

平成３０年７月１日　２ユニット定員合計２０名

（２）利用開始日　平成３０年２月２２日

（３）利用者数等

実利用者数計　83 人

延べ利用日数　5,134 日　利用率 70.3%

１回平均利用日数　10.9 日

（４）要介護度及び年齢

要支援１　１人、要支援２　０人、要介護１　８人、要介護２　23 人

要介護３　22 人、要介護４　18 人、要介護５　11 人

最年少　67 歳、最高齢　101 歳、平均　88 歳

4　寄附金

延べ　67 件　合計金額　1,165,789 円